

記者発表会

IDS2019

2018年10月5日 17:30 横浜グランドインターコンチネンタルホテル

IDS2019 ケルン国際デンタルショー記者発表

ケルン見本市会社 展示部長 マルクス・オスター



38. Internationale
Dental-Schau Köln
12.-16.03.2019
www.ids-cologne.de

Dr.ハイバッハ、

ご来場の皆様、

ケルンメッセに代わりまして、横浜で開催する本日の記者発表会に皆様を心より歓迎いたします。本日は日本の皆様のもとに参ることができ、嬉しく思っております。私どもの招待に応じ、この会にご出席くださり、ケルンで隔年開催するIDSケルン国際デンタルショーに関する話を聞いていただき、感謝します。

すでにDr.ハイバッハが言及したように、この数か月VDDI（ドイツ歯科工業会）とケルンメッセは、世界最大の歯科医療および歯科技術の見本市であるIDSの準備に力を注いできました。ケルンメッセとドイツ歯科工業会（VDDI）は、来年3月12日から16日の期間中、デンタル業界で世界を代表する見本市でありコミュニケーション・プラットフォームでもある、第38回ケルン国際デンタルショーに皆様をご招待いたします。今回も5日間の会期中、歯科医療、歯科技術、歯科専門販売会社、歯科技術産業のディジションメーカーが、新製品や技術開発の最新動向やトレンドに関する情報を入手することができます。この見本市では、世界的な企業の開発部門や研究所が競い合い、最新の製品やプロセス技術の開発成果を展示します。IDSはドイツ歯科工業会（VDDI）が設立した組織である歯科産業振興協会（GFDI）が主催し、ケルンメッセが運営します。

2017年はIDSにとって再び記録的な年となりました。60か国から2,305社がケルンでその優れた製品群を紹介し、これは2015年に比べて100社以上の大幅増加となりました。こ

のうち 648 社はドイツからの出展、1,657 社は外国からの出展で、外国からの割合は 72% でした。来場者に関しては、156 か国から 155,000 人の専門ビジターが IDS に来場し、2015 年の 151 か国 139,000 人に比べると大幅に増加しました。外国からの来場者の割合は、約 60% でした。

2019 年の IDS に話を移す前に、記録的な年となった 2017 年の IDS を映像で振りかえってみます。

印象的な映像でした。ご覧になった画像で、ケルン IDS の雰囲気をお分かりいただけたら幸いです。

もちろん私達—VDDI とケルンメッセは、急速に成長した 2017 年の IDS とその成果に非常に満足しております。この成果こそは、私達が協力して行った努力の結果であり、この努力は次回の見本市に向けより強化していきます。また同時に、このような成果を出すことでモチベーションは高まり、それが IDS をより高いレベルに押し上げ、デンタル業界における IDS というブランドをさらに高めます。立ち止まることなく、休むことなく、あらゆるレベルでポテンシャルを探り、見本市の出展社と来場者のために活用します。

歯科産業振興協会（GFDI）は IDS の主催者として、IDS というブランドを 5 つのクラスターに的確に分け、IDS ブランドのそれぞれの要素に分類しました。各クラスターは継続して戦略的に発展させていきます。私たちはこの様なブランド戦略をベースとしてコンセプトや対策を立案し、IDS を持続的な成功に向けて拡充します。

これが、IDS がデンタル業界の世界的見本市としての比類ない地位を今後も確保するため、自らに課した要求です。見本市の開幕を 5 か月後に控えた現在、前回の見本市の同時期よりも多くの申し込みをいただいております。今も毎日、この歯科と歯科技術の主要見本市への出展の問い合わせがあります。このため私達は、2017 年の記録がさらに塗り替えられることを確信しています。具体的な数字を紹介しますと、これまでの出展申込は 58 か国から 1,700 社を超え、このうち 70% は外国からの申込です。これを見ると IDS の国際性は自明です。

出展数が多いのはイタリア、韓国、アメリカ、中国、スイス、フランス、スペインなどです。この他に各国からのグループ出展も盛んです。これまでオーストラリア、アルゼンチン、ブラジル、ブルガリア、中国、フランス、イギリス、香港、インド、イスラエル、イタリア、日本、韓国、パキスタン、ロシア、スペイン、台湾、トルコ、アメリカなどからグループ出展の申し込みがありました。

IDS は世界のデンタル業界において最も重要なビジネスプラットフォームとして、日本の専門家や企業の皆様に対して、素晴らしい可能性を提供します。日本でも最新の歯科技術に対する需要は常に拡大しており、それだけに歯科医、歯科医院、歯科技工所、歯科技工士は、最新の治療技術を持ち、重要なトレンドやアプリケーションを知ることが重要です。このような情報を包括的に入手することができるのは、IDS 以外にありません！2019 年の IDS には、前回と同様多くの日本企業が出展する予定で、(株)NSK ナカニシ、(株)松風、(株)モリタまたは GC などの企業が、この世界最大のデンタル見本市に参加されます。小規模な会社が初めてヨーロッパ市場や世界市場に進出したいという場合は、ケルンメッセ・ジャパンのスタッフが運営する日本パビリオンは、優れたサポートを提供するでしょう。

国内および外国からの多くの問い合わせが示しているのは、IDS がイノベーションやマーケットトレンドのプラットフォームとして、また中心的なビジネスプラットフォームとして、世界での輸出入の決定的なマネジメントツールになっていることです。この業界で成功をおさめ、完全に包括的な情報収集をしたい企業にとって、ケルンの IDS への参加は必須です。

特に消費者向けの予防用品を扱う企業が多数出展するホール5を取り込んだことにより、IDS は出展者からの展示スペースへの旺盛な需要に応え、また来場者からの要求にも応えました。ホール5 は見本市の自然な順路に理想的な形でマッチし、南入口、東入口、西入口に加えてホール5 とホール10 の間に作った「臨時入口」にもぴったり合っています。特にシャトルバスを使う来場者が、この入口から見本市会場に導かれます。シャトルバスは、臨時入口と見本市の駐車場や見本市の外側にある来場者用駐車場を結んでいます。ホール5 が加わったことによって、IDS の来場者にとって見本市会場は過ごしやすく質の高いものになりました。幅広い通

路や、ガラス屋根の光溢れるアーケードのおかげで、目的の場所を見つけやすくなり、また見本市の構成も改善しました。来場者はよりスムーズに見本市会場に入ることができ、全ての展示ホールに来場者が均等に分散するようになりました。

2019年のIDSは展示ホール2、3、4、5、10、11を使用し、総面積は170,000㎡以上となります。使用面積の面でも見本市は大幅に拡大しています。

もちろん来場者の増加も、私たちが掲げる目標です。IDSはデンタル業界の世界的見本市としてグローバルに認められ大きな話題になっており、来場者数の面でも良い兆候が表れています。2017年のIDSには、世界のほぼ全ての地域からの来場者が増加しました。中南米からは54%の増加、東ヨーロッパは+44%、中東が+32%、アフリカは+32%、アジアが+29%で、2017年のIDSにはより多くの専門ビジターが来場しました。また北米は+17%、ヨーロッパは+14%と、再度大幅に来場者が増えました。来場者が多かった国はイタリア、オランダ、スイス、フランス、ロシア、トルコ、ベルギー、アメリカ、ブラジル、中国でした。

2017年IDSのアンケート調査の結果で分かるように、IDSを訪れた人々は見本市から強い印象を受け非常に満足でした。アンケートに参加した人の4分の3以上が、2019年3月のIDSにも来ると答えています。出展される製品の分野が幅広く数多くの新製品が展示されるため、ドイツの専門ビジターの76%、外国からの専門ビジターの82%は、2017年のIDSの展示内容を「非常に良い」または「良い」と評価しました。これに裏付けられて、来年3月のIDSに対する来場者の反応も非常に良いことが期待されます。

また、見本市初日の2019年3月12日に行う「ディーラーズ・ディ」も、来場者の増加に役立ちます。「ディーラーズ・ディ」はデンタル専門の販売会社、輸入会社に的を絞り、販売会社と輸入会社の関係者のみが入場できるので、出展会社のスタンドでゆっくりと交渉をすることができます。

世界中のあらゆる業界を揺り動かす重要テーマは「デジタル化」です。デジタル化は私達すべてに影響を与え、生活のあらゆる領域に大きな変化をもたらします。デジタル化による変革

は、より良い生活の質、新しいビジネスモデル、より効率的なビジネスに向けて大きなチャンスをもたらします。世界のデンタル業界も、この変革にさらされています。というのも、デンタル業界はデジタルで思考し、デジタルの製品を開発し、未来の世界に生きているからです。

このため私達は、IDS のウェブサイトを中心に刷新し、デジタルの情報プラットフォームに変えました。画像で情報を伝え、直感的にメニュー操作できるようにしたのです。出展者リストや会場内ナビシステムが入った携帯電話やタブレット用の IDS アプリを使えば、確実に目的の展示ホールに行け、さらに IDS に関する他の情報も見られます。また私共のニュースレターも、デジタル式の「見て感じる」アプリに合わせて変えました。

すでに数年前から提供しているデジタルサービスには、「ビジネス・マッチメイキング 365」と、ジャーナリスト向けの「新技術データベース」があります。「ビジネス・マッチメイキング」ツールを使えば、来場者と出展社が見本市の前あるいは後に直接コンタクトすることができます。このサービスには、アポイントのプランニングや会場内の最適ルートの情報も標準で入っています。

オンラインの新技術データベースは、見本市の前後に記事をまとめるための材料を提供します。このデータベースは、取材する専門メディアにとって必要不可欠の情報源になっており、IDS ではどのような新しい技術が紹介されるのか、コンパクトに把握できます。

また、多くのブースで展示に加えて行われる広範囲なライブ・デモや実演のほかに、IDS の「スピーカーズコーナー」も情報を得る場となっています。出展企業は来場者向けのこの司会のついたフォーラムを、専門的な講演や製品のプレゼンの場として利用し、製品やサービスのポートフォリオから新技術やトレンドを紹介することができます。

皆様、IDS は 2 年に一度世界のデンタル業界から 18 万人以上の来場者をケルンに迎える、人気の高い国際的見本市です。そのうち多くの人は 1 日だけ見本市を訪れますが、数日間かけて IDS を見るビジターも多くいらっしゃいます。私達は、出展者も来場者も気持ち良くケルンに滞在いただきたいと思っています。また見本市への参加や、出張の計画と実行は簡単でスムーズ

ズに、またケルンの滞在はできるだけ快適にしたいと考えています。見本市のお客様には、歓迎された、行き届いたサービスを受けた、と感じていただきたいのです。

Seite
6/8

他に例のないインフラの充実や、それによって往路/帰路が容易になることで、皆様のケルン訪問は非常にスムーズなものになるでしょう。ドイツで4番目に大きい都市ケルンはヨーロッパ最大の経済圏に位置し、ヨーロッパの交通の要所でもあり、世界からのアクセスは完璧です。

1時間飛行機を使えば、1億8000万人が住むヨーロッパの各地域に飛ぶ事ができます。この範囲の地域だけで、EUの国内総生産の40%にあたる経済圏となっています。ケルン/ボン空港は100の都市と直接結ばれています。またドイツ鉄道の高速度鉄道ICEを使えば、短時間でフランクフルト、アムステルダム、ブリュッセル、デュッセルドルフなど、4つの国際空港に行くことができます。特に最高な点は、見本市会場のすぐ横にICEの駅「ケルン見本市/ドイツ駅」があることです。この駅には毎日1700本の列車が発着し、スムーズな到着/出発を確実にします。

IDSのような重要な見本市が開催されると、2年に一度、準備と片づけの2日間を含む約7日間にわたって世界からやって来る人々のために、ケルンとその周辺で数十万人分の宿泊キャパシティが必要になります。これは大都市圏であるケルン/ボンおよびデュッセルドルフ地域で対応する事ができます。

例えばIDSの期間中、およそ30の船のホテルを用意してキャパシティを確保する予定です。また、簡単な宿屋や個人宅の部屋貸しからデラックスな5つ星ホテルまで、あらゆる価格帯と等級の多くのホテルを用意しています。見本市会場からの公共交通の便が非常に良いことから、ケルン周辺地域の宿泊施設は見本市のお客様にとっても好評です。デュッセルドルフとボンの2都市には30分足らずで行くことができます。つまりIDSのお客様は、ドイツ鉄道で見本市会場と結ばれたケルン周辺の小さい市町村（デューレン、レーバークーゼン、ゾーリングン、トロスドルフ、ジークブルク、ヘネフ）などにある、様々なカテゴリーの宿泊施設を利用することができるのです。世界から訪れるお客様の様々なご希望には、できるだけ応えるようにしています。

さらに、専門ビジターのIDSへの旅をもっと容易にし、コスト削減にもなるサービスがあります。これまでは見本市のチケットを買うと、330万人が暮らすケルン周辺のライン・ジーク(VRS)交通圏の公共交通機関が使えるようになっていました。次回の見本市からはこのサービスが、850万人が住むライン・ルーア(VRR)交通圏、つまりライン地域全体に拡大することになったのです。すなわち、デュッセルドルフ、デュイスブルク、エッセン・ゲルゼンキルヘン、ミュールハイム、ドルトムントなどの都市圏でホテルを予約するか、デュッセルドルフ空港に到着するお客様は、インターレギオおよびオプシオンの公共交通機関を無料で利用して、ケルンの見本市会場まで行くことができるということです。

IDSのウェブサイトには、見本市への参加に役立つ情報が載っているほか、ケルンまでの交通や宿泊の予約も無料でできます。オンライン予約システムには多くのパートナーホテルが参加しているほか、ケルンやその周辺のベッド&ブレックファストも提供されています。また、6部屋からグループブッキングも可能です。

もしケルンまでの旅程とホテルの予約で問題が生じ、サポートを望まれる場合は、ご遠慮なく私共に直接ご連絡ください。メールに問い合わせ内容を記入して送ってくだされば、私共がすぐに対応いたします。IDSのウェブサイトのメニューから、「Travel and accomodation」をクリックしてメールをお送りください。もちろんケルンメッセ日本法人のスタッフにご相談いただくこともできます。

ケルンメッセは今では世界に6つの子会社を持ち86か国に代表部があって、国際市場にきめ細かく対応しています。これによって、ケルンから数千キロ離れた場所にいらっしゃるお客様の近くにいる事ができ、お客様にとって重要な問題を理解し見本市への参加をサポートする事ができるのです。各国に居るケルンメッセのスタッフは、ケルンのスタッフと緊密に協力し、皆様をサポートいたします。

IDSの中心テーマはビジネスではありますが、来場者や出展者は大聖堂の街ケルンを詳しく知り楽しみたいと思うでしょう。見本市会場のすぐそば、ケルンの動脈であるライン川の対岸は100万人都市の中心地で、リベラルで気さくな、世界に対しオープンな人々が住んでいます。古代から現代に及ぶ文化遺跡に加えて、「ケルンシュビールの楽しみ」を味わうには、たくさんあるレストランやビール醸造所、居酒屋に行くのが一番でしょう。

皆様、本日はお越しいただきまして誠に有難うございました。

改めて御礼申し上げます。

VDDI とケルンメッセは、2019 年の 3 月 12 日から 16 月の期間中、ケルンの IDS に皆様をお迎えするのを楽しみにしております。

Status:09/2018

Initials:2911 - cl